



平成30年8月7日

福岡県内経済情勢報告

平成30年8月

財務省福岡財務支局

【問い合わせ先】

財務省 福岡財務支局 経済調査課

TEL 092-411-9038

FAX 092-452-1318

福岡県内経済情勢報告（平成 30 年 8 月）

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、回復している」

項目	前回（30年4月判断）	今回（30年7月判断）	前回比較
総括判断	回復している	回復している	→

（注）30年7月判断は、前回4月判断以降、足下（7月末）の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は回復しているほか、生産活動は緩やかに回復しており、雇用情勢は改善している。

【各項目の判断】

項目	前回（30年4月判断）	今回（30年7月判断）	前回比較
個人消費	回復している	回復している	→
生産活動	緩やかに回復している	緩やかに回復している	→
雇用情勢	改善している	改善している	→
設備投資	29年度は増加見込み	30年度は増加見通し	→
企業収益	29年度は増益見込み	30年度は増益見通し	→
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	↗
輸出	前年を下回っている	前年を上回っている	↗

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響等海外経済の不確実性や、平成30年7月豪雨の影響などに留意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「回復している」

百貨店・スーパー販売額は、スーパーでは飲食料品や衣料品が低調であるものの、百貨店では高額品や化粧品が好調なことなどから、全体では前年を上回っている。なお、一部に平成30年7月豪雨の影響がみられるとの声が聞かれる。コンビニエンスストア販売額は、新規出店効果に加え、店内調理の食料品が好調なことなどから、前年を上回っている。乗用車販売は、軽自動車では新型車が好調なため前年を上回っているものの、普通車、小型車が前年を下回っていることから、全体では前年を下回っている。ドラッグストア販売額は、新規出店効果に加え、飲食料品等を中心に好調なことなどから、前年を上回っている。家電販売額は、機能性の高い白物家電、テレビ、エアコンに動きがみられたことなどから、前年を上回っている。ホームセンター販売額は、冷房器具等に動きがみられるものの、日用品等の動きが鈍く、前年を下回っている。このように、個人消費は回復している。

■ 生産活動 「緩やかに回復している」

輸送用機械の自動車は、海外向けを中心に引き続き好調に推移するなど、緩やかに回復している。鉄鋼は、国内外向けの自動車用鋼材や海外向けの軌条が好調なことなどから、高い操業を維持している。電子部品・デバイスは、車載向けを中心に引き続き好調に推移している。このように、生産活動は緩やかに回復している。

■ 雇用情勢 「改善している」

有効求人倍率は引き続き高水準で推移している。新規求人数は、医療・福祉業及び卸売業・小売業等で増加している。新規求職者数は引き続き前年を下回っている。このように、雇用情勢は改善している。

■ 設備投資 「30年度は増加見通し」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」30年4－6月期

30年度は、製造業は前年比18.9%の減少見通し、非製造業は同38.0%の増加見通しとなっており、全産業では同19.6%の増加見通しとなっている。

■ 企業収益 「30年度は増益見通し」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」30年4－6月期

30年度は、製造業は前年比0.1%の減益見通し、非製造業は同0.2%の増益見通しとなっており、全産業では同0.1%の増益見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回っている」

新設住宅着工戸数でみると、分譲住宅の増加などから前年を上回っている。

■ 輸出 「前年を上回っている。」

輸出(円ベース)は、前年を上回っている。なお、輸入(円ベース)は、前年を上回っている。

(その他項目)

- 企業の景況感を法人企業景気予測調査(30年4－6月期)の景況判断BSIでみると、30年4－6月期は、「下降」超に転じている。先行きについては、30年7－9月期は、引き続き「下降」超の見通しとなっている。